

MRX工法協会が総会

工法の普及促進に全力



新年度事業計画等を決めた総会＝宮崎市で

MRX工法（節形状掘削工法）とは、杭を施工する際に特殊な装置により地盤を節形状に拡大掘削し、地盤とセメント材をソイル状にかくはん混合することで摩擦力を大きくすることが可能。また、産業廃棄物である掘削残土量を極端に少なくすることができる工法。

県設備設計事務所協会ゴルフ

三浦さんが見事優勝

県設備設計事務所協会（小島眞史会長）の親睦ゴルフコンペは28日、鹿児島郡吉田町のゴルフコースで行われた。この大会には、三浦哲男（三浦建設）が優勝し、見事優勝賞状とトロフィーを授けられた。



小島会長（右）のお礼の言葉を聞く参加者＝吉田町のゴルフコースで

県機械製缶工業会

団体 南日汽缶工業が優勝

優勝＝三浦哲男（大鹿）、準優勝＝関孝史（森松工業）、3位＝窪克彦（鹿児島日立）、4位＝小田隆二（G81）。南日汽缶工業（南日汽缶工業）が優勝し、見事優勝賞状とトロフィーを授けられた。大会は、第20回記念大会として開催された。参加者は、熱戦を繰り広げ、見事優勝を収めた。

MRX工法協会（会長・植松眞樹）は、このほど、宮崎市で15年度総会を開き、新年度事業計画などを決めた。昨年度は、国土交通大臣認定を取得したMRX工法の近況報告などが行われた。総会の冒頭、植松会長が「公共事業予算の大幅な削減等により、建設業界を取り巻く環境が一段と厳しい状況下で、MRX工法は昨年6月に国土交通大臣認定を取得以来、施工販売も順調に推移し、15年3月末までの施工実績として、4万4000㎡に達した。今後も、同工法の普及促進、販売施工に努めていきたい」と挨拶。議案審議では、14年度

旧道敷地再利用で視察

不法投棄の防止策検討

NPPOインフラ

NPPO法人インフラネット（新屋敷和明代表理事）は25日、この不法投棄場所となり、現在、閉鎖されている道路旧道敷地駐車帯の再利用の可能性について利用者の立場から考えてみようという。会員8人（大来峠から紫尾峠までの国道328号沿い）を見学した。宮之城町平川では、利用者のために景観にも配慮、ボーリングしつらいように環境整備されているのにコンクリート路面の敷地には、不法投棄が

大会には、賛助会員ら16組60人が参加。会場は、時折強風が吹き荒れる中で、和気あいあいとプレーを展開した。ホールアウト後の閉会式で小島会長が「今日は設備関連の方々や遠く宮崎県からも参加頂き、盛大に開催することができました。今後も様々な形で交流を深めていきたいと思います」と挨拶。各入賞者に賞品を手渡した。主な成績は次の通り。

総会

日本建設工業協会（会長・平井会長）は、このほど、鹿児島市で第15回通常総会を開いた。総会では、15年度事業活動の主要テーマとして、①分離発注の推進、②電子入札への対応、③PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の推進などが議論された。



珍プレー、好プレーが繰り広げられた大会＝鹿児島市の国際ボウルで

技術協会 23日、東京・千代田区のキャピトル東急ホテルで第16回通常総会を開いた。役員改選では、長倉康彦会長の後任として、新会長に中野積算（東京・杉並区）の中野田一社長を選んだ。副会長には、NTTファシリティーズの篠原周氏、芝浦工業大学教授の藤上輝之氏を新任。日格和男が、常務理事に都原正守氏がそれぞれ新任された。

会館ホールで15年度通常総会を開いた。役員改選では、長倉康彦会長の後任として、新会長に中野積算（東京・杉並区）の中野田一社長を選んだ。副会長には、NTTファシリティーズの篠原周氏、芝浦工業大学教授の藤上輝之氏を新任。日格和男が、常務理事に都原正守氏がそれぞれ新任された。

お手軽で便利な購読料のお支払いはこちら
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

県建設業協会肝属支部総会

知恵出し更なる融和を

県建設業協会肝属支部（原口慶支部長）は1日、支部会員77人（委任状含む）が出席して鹿屋市のホテルさつき苑で第39回通常総会を開き、昨年7月に実施した国交省出前講座などの事業報告と高橋生を代表とした現場見学会等の新年度事業計画、収支予算を採決した。

総会では冒頭、原口支部長が「14年度の日本経済は、経済を再生させるための政策強化を図ったが、当地区の会員受注額は前年対比12・8%の減額に達し、22億円の大幅減で受注競争の激しい1年であった。このような状況下で安全管理雇用改善パトロール診断活動等の実施で、幸い昨年度に続き3大災害等の死亡事故はなかった。これら厳



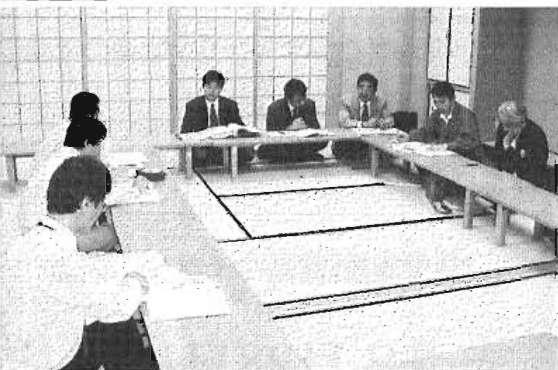
新年度事業計画を決めた総会
＝鹿屋市のホテルさつき苑で

しい時代を会員企業が互いに知恵を出し合い更なる融和を図るために、一層の理解と協力をお願いする」と挨拶。

続いて、議長に米倉正之氏（南米倉建設）を選出。議事に入り、14年度

NPOインフラネット総会

旧道敷等活動計画決める



新年度活動計画について意見交換する会員
＝鹿児島市の市労働者交流センターで

NPO法人インフラネット（新屋敷敷和代表理事）は4月25日、鹿児島市の市労働者交流センターで第1回総会を開き、道路旧道敷利用の提案活動や法面危険箇所の赤外線診断、歩道ネットワークづくり活動の実施などの15年度活動計画を決めた。総会後は、5人の新会員紹介や今年3月30

日に実施した第1回歩道ネットワークづくりの反省会もあった。同法人は、平成14年12月に技術者や地域活動を実践している市民ら15人で設立。法人登記済み。市民と行政を結ぶパイプの役割を担

事業報告、決算及び剰余金処分案、電子入札対応などの事業や要望活動、調査・研修・講習等の15年度事業計画及び収支予算案、会費徴収と入会金

徴収など各議案を承認した。

新屋敷敷和代表理事は挨拶の中で「設立から半年が経過しましたが、NPOとは何であるか、理解頂けたでしょうか。第1回歩道ネットワークでは予想を上回る市民の参加がありました。市民の視点は鋭く、私も気づかなかった貴重な指摘を頂きました。一般市民が求めるものを引き出し、行政に提案していくための活動を今年は本格的に始めたいと思います」と抱負を述べた。

総会では、利用者のマナー不足から空き缶やゴミの不法投棄場所になってしまっている旧道敷で遮断されている旧道敷の開放を提案するため5月25日に現地を視察、その可能性を検討する等の活動を決めた。また好評だった歩道ネットワークは、今年も鹿児島市内2カ

起業家を広く募集

かごしま起業家応援プログラム

多様な資源や人材を活用した新しい商品開発の医療・福祉・環境に関連した新製品・サービス等③ITを活用した新しい技術・サービス等

△対象経費①商品・サービス開発推進費（情報収集、調査研究開発費等）②販路開拓・販売管理費③宣伝広告費等④一般管理経費（人件費、事務費等）△助成金①1件あたり100万円以内②募集期間③5月1日～7月31日（事業計画書

△対象事業①鹿児島の所、始良地区1カ所です。活動後はワーキンググループによる検討している。

県土木部監理用地課長に就任した 重田



和男さん

「企業の皆様も経営基盤の安定に努めるとともに、技術の研さんなどで施工能力を高め

かお...人

「私共の課は、土木部の組織や予算、議会対策などを担当する総括的なセクションであり、部内課員の声に耳を傾け、現場の方々が

を卒業し入庁、平成12年保健福祉部障害福祉課長、同14年同部高齢者対策課長を経て現在に至る。これまで、「商工政策課時代に、かごしま遊楽館のプロジェクトを担当し、県庁舎跡地対策事務局でこし県民交流センターの基本、実施設計に携わったことが感懐深い」と回顧する。40歳前、上司の勧めで始めたゴルフは、県民生活に貢献する。54歳。土木部

6日まで鹿児島市で

「プレタポルテのいえ」作品展



6日まで開催中の建築作品展
＝住まいづくりの図書館「びーぶる」で

「これまで家づくりは住宅メーカーや工務店が一般的であったようだが、市民の関心は高まっている。」「800万円からのデザイン住宅の提案」の副題の通り、作品ごとに工事費の参考価格や設計料が提示されている。関心の向きは同事務所（0909・2550・9100）まで。会場は鹿児島建設新聞の

せん。今回提案した「プレタポルテのいえ」は、設計者というよりビルダーの立場になって住宅とは何かを問うかけ、限られた建築面積や建築予算の中で設計者がつくる家にはどんな斬新な発想や工夫があるかを提案してみました」と宇都氏。作品展示会には珍しく「800万円からのデザイン住宅の提案」の副題の通り、作品ごとに工事費の参考価格や設計料が提示されている。関心の向きは同事務所（0909・2550・9100）まで。会場は鹿児島建設新聞の

購読料のお支払いが
お手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ